

# 彙報

## 教育學會例會

十月二十六日午後六時より學生集會所に於て開催左の紹介ありたり。

MacKenzie, Hegel's Educational Theory and Practice.

穂引友三 郎君

『此の著書の眼目は余りに實質的傾向を帯び來れる現今の教育に對して、ヘーゲルの教育論を高調し、以て幾分なりとも精神的傾向を惹起せしめたいと言ふに在る。ヘーゲルに依れば、教育の意味は自然的、直接的衝動的なるものを精神的、一般的、意識的のものにする事である、而して其の目的は辯證論的發展に依つて國家的精神に進むに在りと極端なる國家主義的教育を主張して又其の理想は、藝術、宗教、哲學的發展に在れども彼の精神的發展的、普遍的なる哲學の見地よりして、此れがために國家の權威と價值とを失ふ事はない。更らに教育の方法としては中等教育を其の本體として古典的教育を極力、主張し、精神的科目に重きを置き、自然科學を間接的の效果あるものと見做して居る。此くの如くヘーゲルの教育論の特徴若しくは缺點と見らるゝ所は、初等教育に重きを置かず、中等教育を其の本體となしたる點及び特殊教育、庶民教育、實業教育、女子教育、身體的教育を輕視したる點に在れど、其等理論より來れる多くの缺陷は其の實際的施設、經

驗等に依り補はるゝ所が多い。尙末節にはヘーゲルの興味ある傳記が載せられて居る』云々と言ふのが其の大意であつた。右の講演に引き續き、山耕君の提出せる、『中等學校に於ける修身科擔任の方法如何』の問題に就て討論あり、色々の提案を見たが其の主なるものは、(一)學級主任此れを擔任すべし、(二)校長又は特別の教師此れを分擔すべし、(三)單に修身科教員をして此れを分擔せしむべし、(四)學級主任修身科擔任教員をして適當に此れを行はしむべし等の類であつた。

## 支那哲學學會例會

西村講師及び新入會學生の歡迎を兼ね、十月二十七日午後五時半より文科第九教室に於て開催狩野教授及び平内房次郎氏の講演ありたり。

## 新著紹介

### 日蓮聖人の宗教

北尾日大編

近時日蓮聖人に關する論著誠に汗牛充棟、而して學者論ずる所時にはその趣を同じくせざるものあり、遂には彼此氷炭相容れず水火相闘ふの觀を呈するものなきにあらず、門の内外を問はず初學のものその取捨に迷ひ、『何れが果して眞日蓮義なるか、僞日蓮義なるか、その選擇に惑はざるを得ない有様になつて居る、茲に